

施工説明書

戸建住宅用宅配ポスト

COMBO-int

コンボイント



このたびは、パナソニック製品をご採用頂き、まことにありがとうございます。

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください。**
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。
- 準防火地域に対応した設計としていますが、必ず建築主事へご確認ください。
※鋼板0.8 mm以上（建築基準法 告示1360号に準拠）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



禁止

- 仕様変更・改造は絶対にしない
けがの発生や事故のおそれがあります。
変更、改造、分解された場合は商品の保証は致しかねます。



必ず守る

- 商品の施工は、施工説明書にしたがい
確実に行う
落下によるけがのおそれがあります。

注意



禁止

- 通行の妨げとなる場所、危険な高さおよび
極端に高い場所や低い場所には設置しない
けがの発生や事故のおそれがあります。
- 室内側の扉を閉め忘れない
故意によるいたずらや住宅性能を低下させる
おそれがあります。



必ず守る

- 取り出しスペースを十分にとる
扉の開閉操作が十分に行える場所に設置してください。
けがの発生や事故のおそれがあります。
- 施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する
ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の
原因となります。
- 部材が重量物の場合、運搬、取付作業は2人以上で行う
けがのおそれがあります。

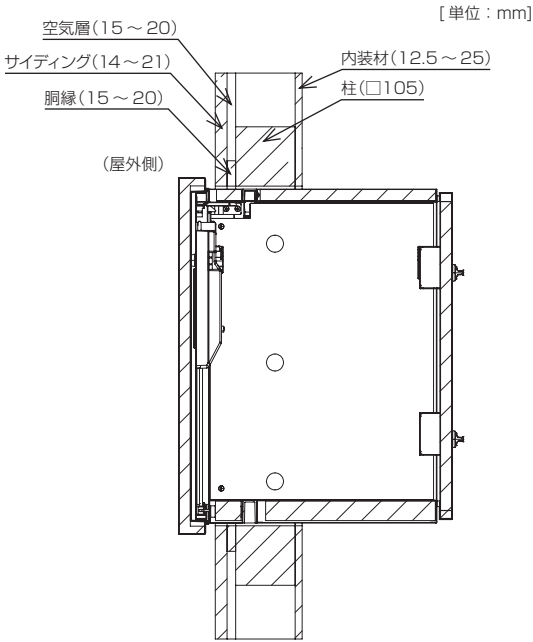
施工上のお願い

■対応壁厚および各部材の仕様〈木造サイディング専用〉

〈設置条件(必ずお守りください)〉

躯体総壁厚		130～216 mm以下
柱幅	軸組工法	105 mm (3.5寸)
		120 mm (4.0寸)
		150 mm (5.0寸)
	2×4工法	38 mm×89 mm
	2×6工法	38 mm×140 mm
サイディング厚み		14～21 mm
内壁用石膏(こう)ボード厚み		12.5～25 mm
胴縁		15～20 mm

外張断熱構造には施工できません。



- 本商品は一般戸建住宅用です。
集合住宅用や業務用として設置しないでください。
- 本商品は住宅壁埋め込み型(木造サイディング専用)です。
室内側ボックスや扉は必ず室内(屋内)側に設置してください。
屋外露出するとさびが発生したり、変色の原因になります。
- 本体にはリシンなどの塗料はかけないでください。
塗料がはがれたり、変色の原因になります。
- 製品の表面保護はマスキングテープをご使用ください。
(養生テープは、お避けください)また、周囲作業時のみの貼り付けで、作業後は速やかに取り外してください。
養生テープを使用したり、長時間の貼り付けをしたりすると塗装がはがれたり、変色したりする原因になります。
- 外扉・配達扉はZAM(高耐食溶融メッキ鋼板)に粉体塗装をしていますが、さびが発生することがありますので硬いものでこすったり、傷つけないように注意してください。
- 本体を塩酸などの酸類で洗わないでください。
さびの原因になります。
- 本体内部へ水を入れないでください。
- ホースなどで直接水洗いしないでください。
故障や水漏れ、水溜まりの原因になります。
- 強度確保のため、下記の項目を守ってください。
 1. 壁面開口寸法は説明書通りに設けてください。
 2. 各部材の組立、取り付けは説明書通り確実に行ってください。
 3. ねじ止め箇所は、指定のねじで全て確実に行ってください。
 4. 宅配ポストを設置する壁面では耐力壁を確保できないため、別部位で耐力壁を設けてください。

梱包明細

- セット名： 本体
右開き・左開き 共通

部品名	入数
宅配ポスト本体	1
施工説明書	1
取扱説明書	1
ねじ穴樹脂力バー	6

各部のなまえとはたらき

※イラストは〈右開き〉です。

●荷受確認表示

施錠セット後に配達扉を開けると、「受け取りできます」**〔緑色〕** → 「使用中」**〔赤色〕** に変わります。

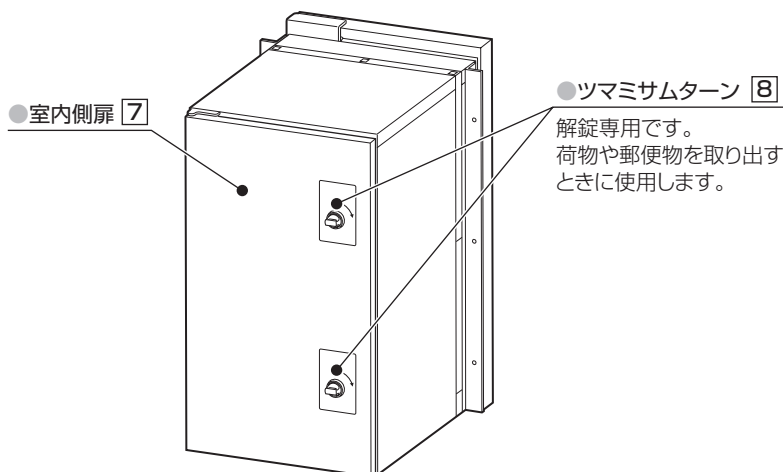
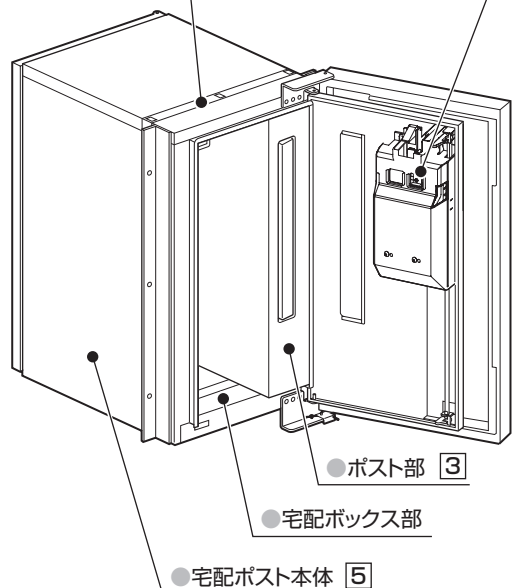
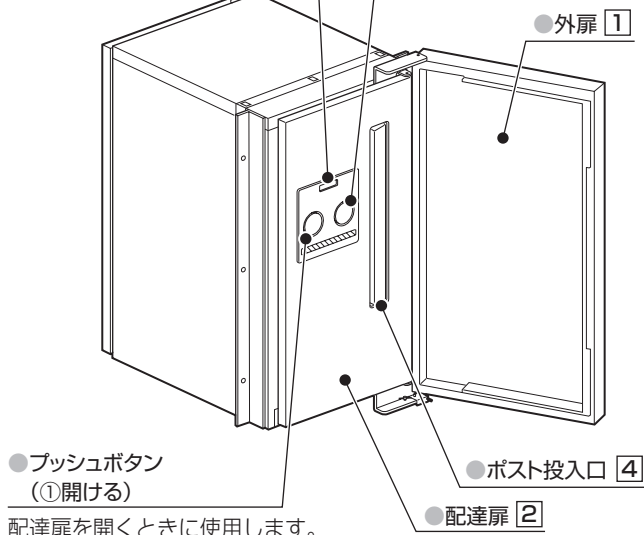
●なつ印ボタン (④なつ印)

荷物を受け取り配達扉を開けて施錠されると一回だけ押印できます。

●ボックス連結部材 〔6〕

●施錠レバー

荷物を入れてレバーを下げ、配達扉を開めると鍵がかかります。



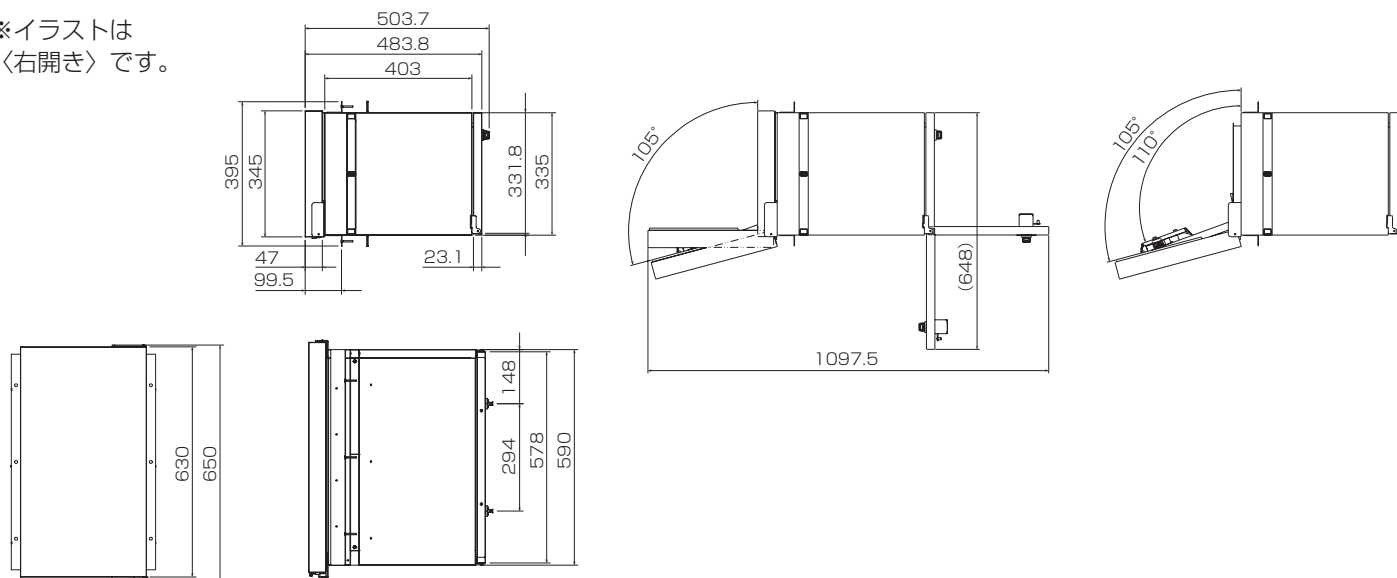
なまえの後ろに番号 (例：〔1〕) がある場合は、下記で材質や色調を確認できます。

部位	材質		色調	
	外側	内側		
〔1〕 外扉	板金(ZAM) t= 0.8 粉体塗装仕上げ	ASA 樹脂 ホワイト (ウレタン注入)	TB	鋳鉄(ちゅうてつ)ブラック
			MA	エイジングブラウン
			SC	ステンシルバー
			WS	漆喰(しっくい)ホワイト
〔2〕 配達扉	板金(ZAM) t= 0.8 粉体塗装仕上げ		WS	漆喰(しっくい)ホワイト
〔3〕 ポスト部	板金(ZAM) t= 0.8 粉体塗装仕上げ		WS	漆喰(しっくい)ホワイト
〔4〕 ポスト投入口	ASA 樹脂			ホワイト
〔5〕 宅配ポスト本体	板金(SPCC) t= 0.8 粉体塗装仕上げ	PP 樹脂 ホワイト (ウレタンボード貼付)		ホワイト
〔6〕 ボックス連結部材	ABS 樹脂			ホワイト
〔7〕 室内側扉	板金(SPCC) t= 0.8 粉体塗装仕上げ	PP 樹脂 ホワイト (ウレタンボード貼付)		ホワイト
〔8〕 ツマミ部	ポリアミド(樹脂)			ブラック

寸法図

[単位 : mm]

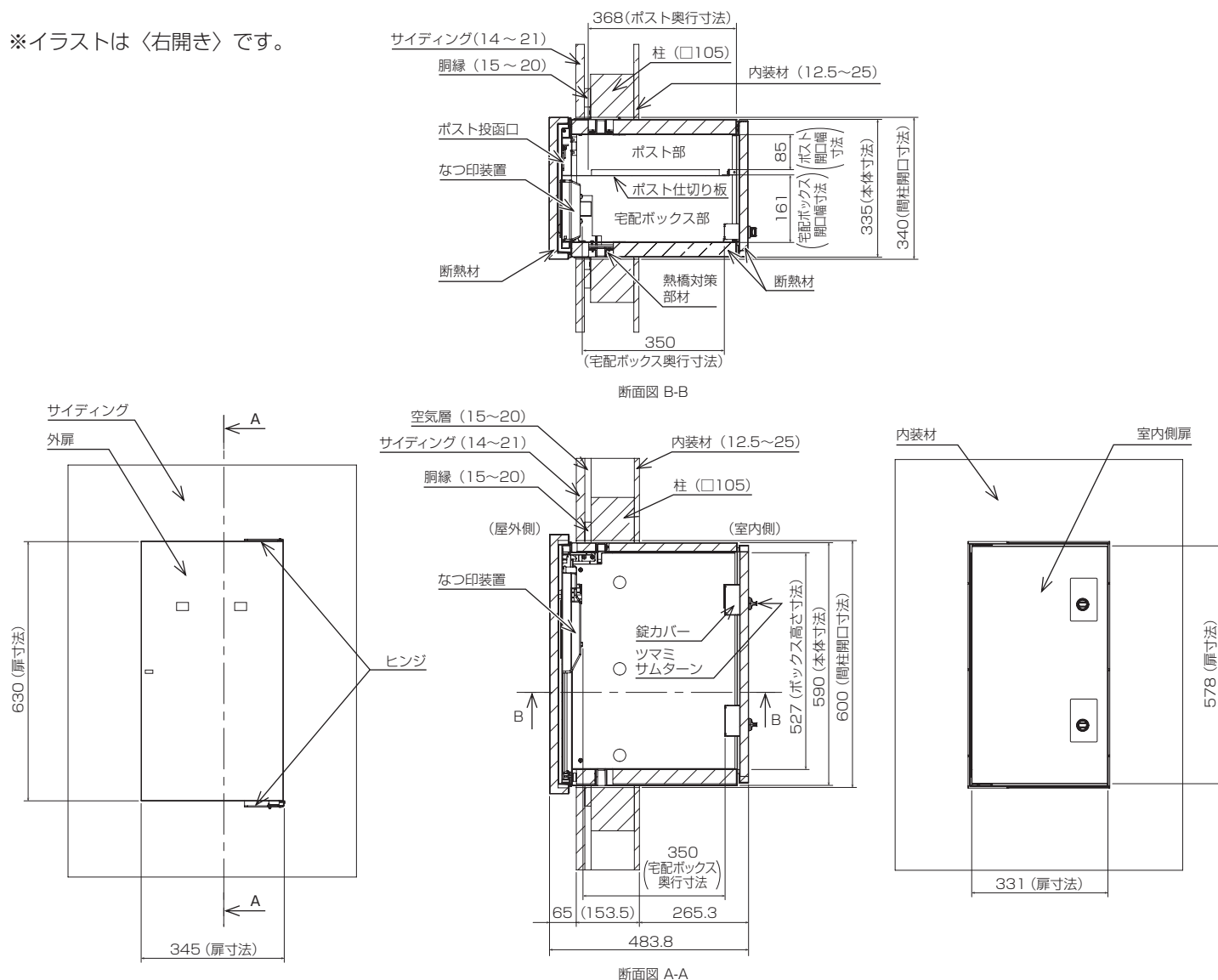
※イラストは
〈右開き〉です。



施工納まり図

[単位 : mm]

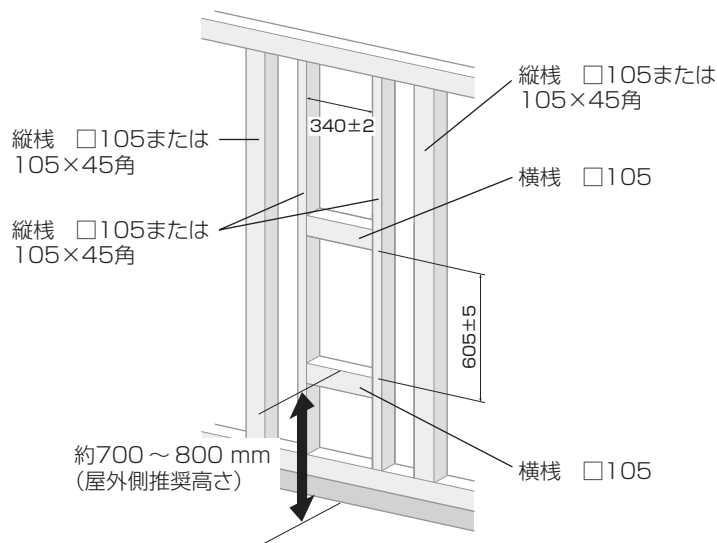
※イラストは〈右開き〉です。



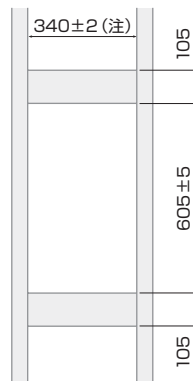
施工手順

[単位：mm]

- 宅配ポストを設置する躯体開口を確保してください。



●開口寸法



横桟には□ 105 を使用してください。
(透湿防水シートが固定できなくなります)

(注) 開口寸法(横幅)は
340±2 mmに
してください。

⚠ 注意



必ず守る

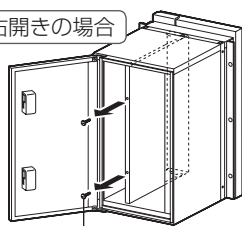
- 開口寸法(横幅)は340±2 mmにする

躯体開口が規定寸法を超える場合、動作や外観に異常が発生するおそれがあります。

① 宅配ポストを躯体に固定する

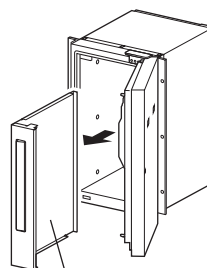
- 一度ポスト仕切り板を取り外してください。
(本体を躯体に取り付けたあとで、再度ポスト仕切り板を取り付けるため、取り外した部品はなくさないようにしてください)

右開きの場合



M4ねじ(2本)

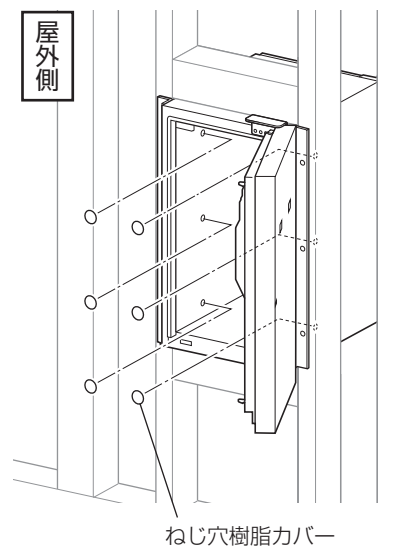
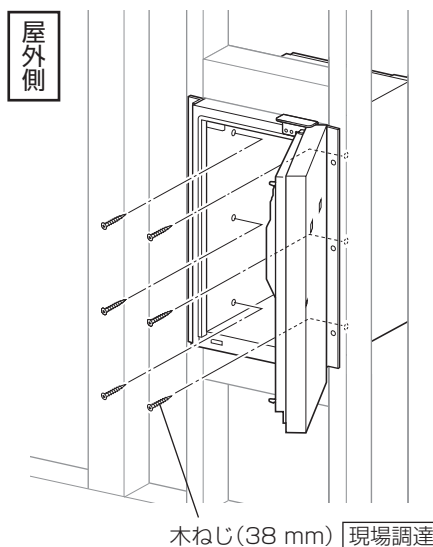
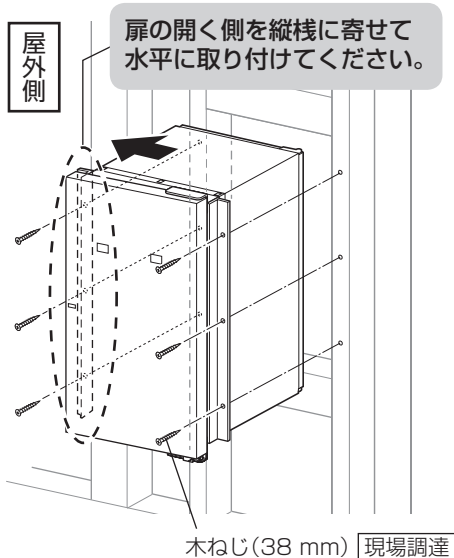
- ・室内側扉を開け、M4ねじ(2本)を外す
- ・ポスト仕切り板を少し右側へずらす



ポスト仕切り板

外扉と配達扉を開け、
ポスト仕切り板を取り外す

- ① 宅配ポストを躯体開口に挿入し、間柱正面に木ねじで固定する(6か所)
- ② 宅配ポスト内側から木ねじで固定する(6か所)
- ③ ②のねじ穴にねじ穴樹脂力バーを貼る



●施工ポイント

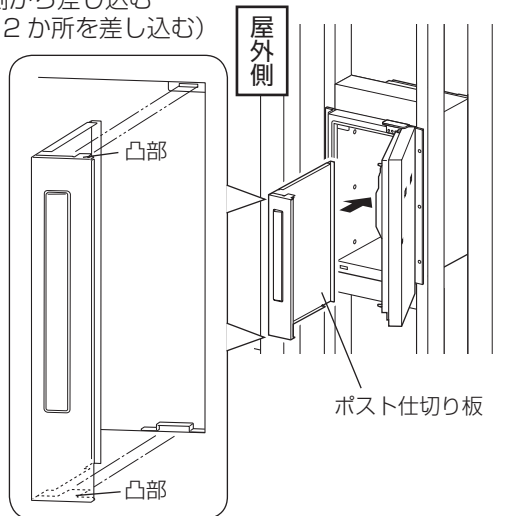
右開きの場合、屋外側から見て左に寄せて取り付ける
左開きの場合、屋外側から見て右に寄せて取り付ける

施工手順

[単位：mm]

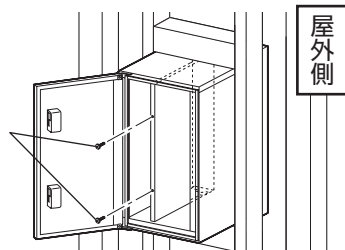
② ポスト仕切り板を取り付ける

- ① 屋外側から差し込む
(凸部 2 か所を差し込む)



- ② 室内側から固定する
(2 か所)

M4 ねじ (2 本) で
固定する



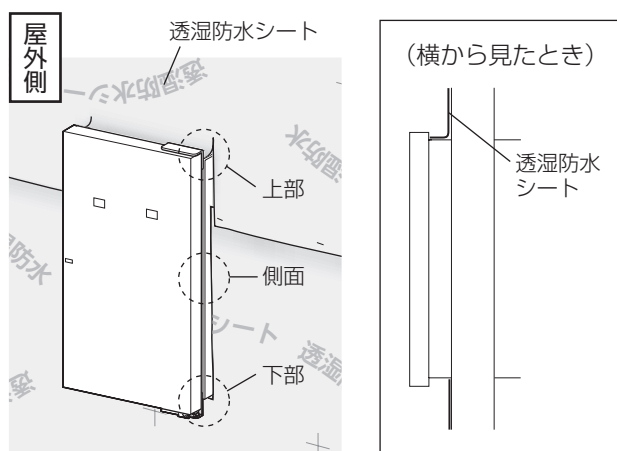
⚠ 注意



必ず守る

- 充電ドライバーのご使用を避け、手回しでしっかり締め付け確認する

③ 透湿防水シートを取り付ける



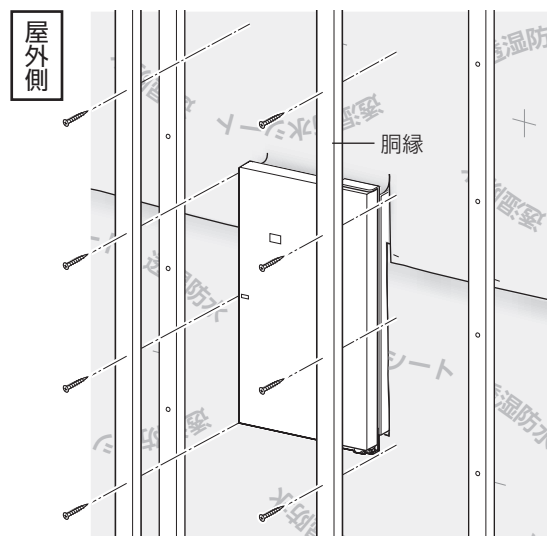
- 上部は宅配ポスト本体を覆う長さで切断してください。
- 側面と下部は、宅配ポストとすき間ができないように切断してください。

お願い

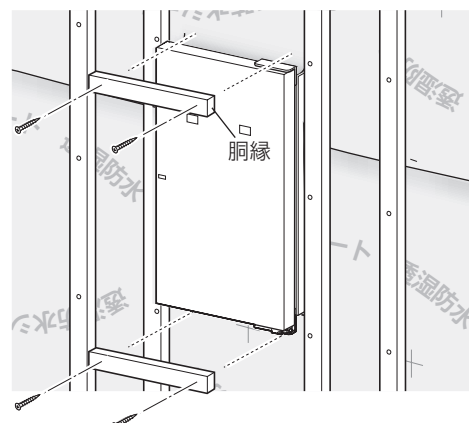
- 透湿防水シートの納まりについては、サッシ窓を参考にして現場で対応してください。

④ 胴縁を取り付ける

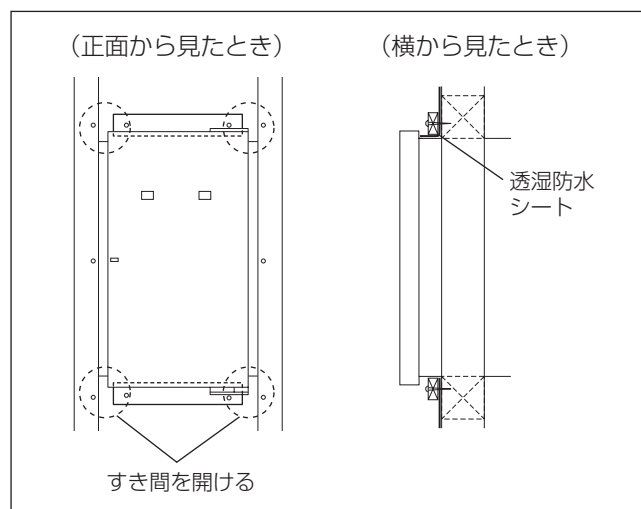
- 透湿防水シートを押さえるように胴縁で固定してください。



木ねじ 現場調達

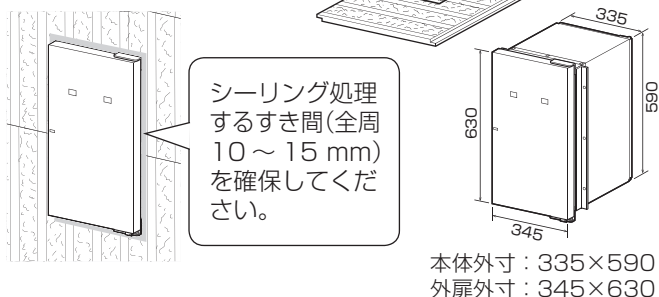


木ねじ 現場調達

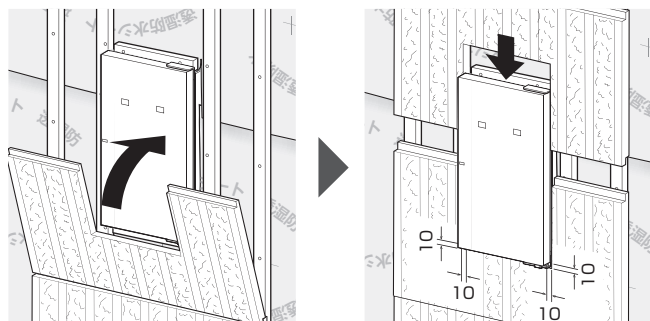


屋外側の作業

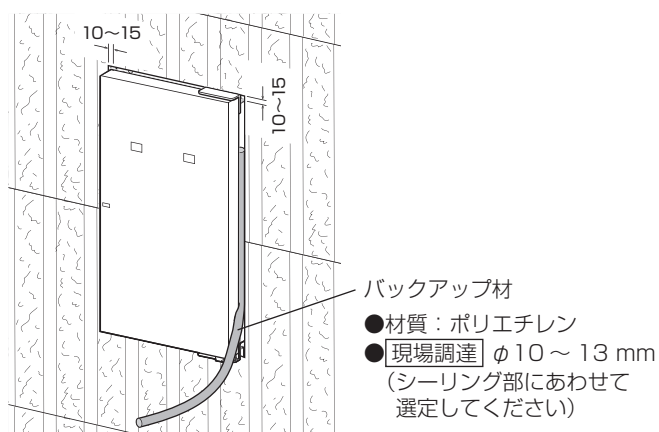
- サイディングは、事前に宅配ポストの開口寸法分を切断してください。



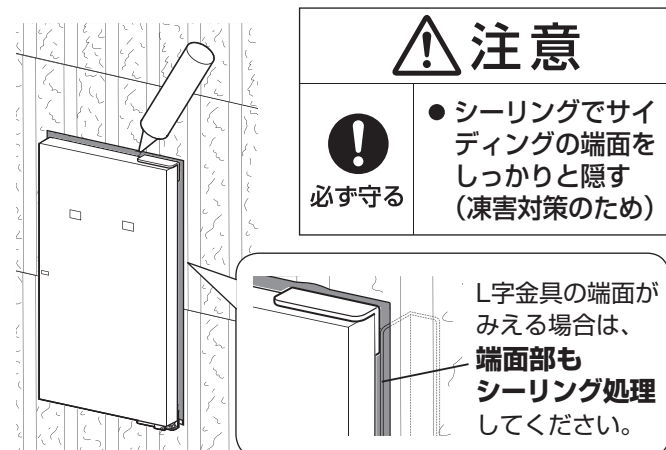
5 サイディングを張り付ける



6 バックアップ材を挿入する

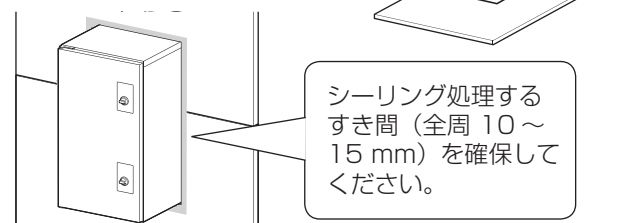


7 シーリング処理する

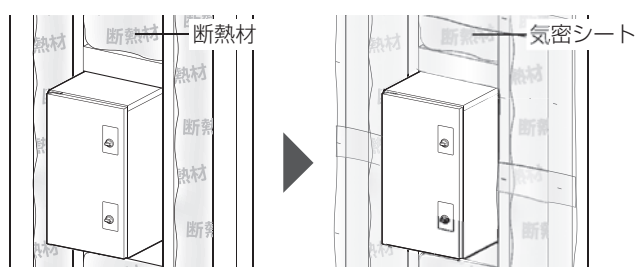


室内側の作業

- 内壁用石膏(せっこう)ボードは、事前に宅配ポストの開口寸法分を切断してください。



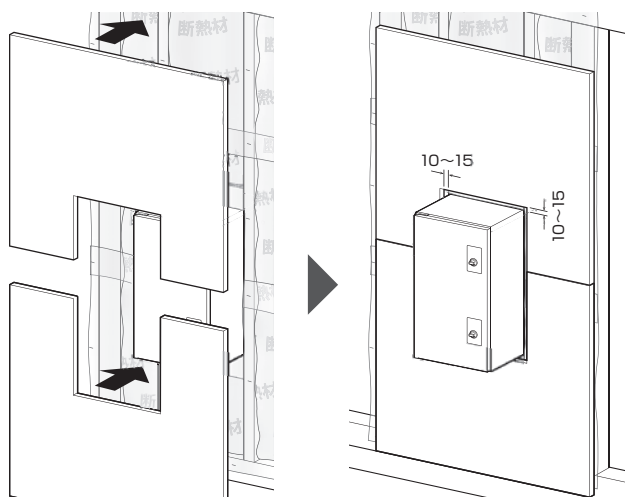
8 断熱材を挿入し、気密シートを張り付ける



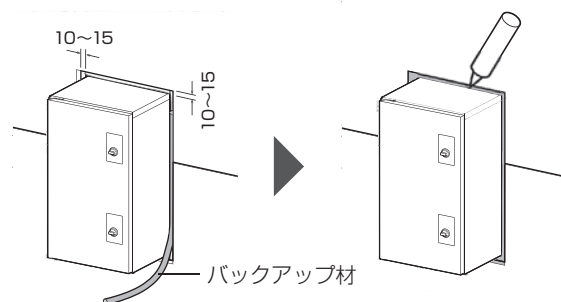
お願い

- 気密シートの納まりについては、サッシ窓を参考に現場で対応してください。

9 内壁用石膏(こう)ボードを張り付ける



10 バックアップ材を挿入し、シーリング処理する



11 壁紙を貼る (仕上げ)

施工後の動作確認

印鑑の取り付け

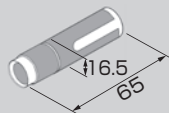
① 印鑑を準備する

※印鑑はお客様でご用意ください。

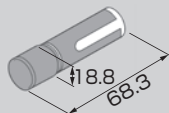
ご注意

●使用する印鑑は、シャチハタ製「ネーム9」を使用してください。その他の印鑑では、ご使用になれません。

キャップを外した状態

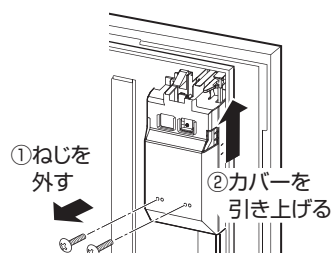


キャップがついた状態



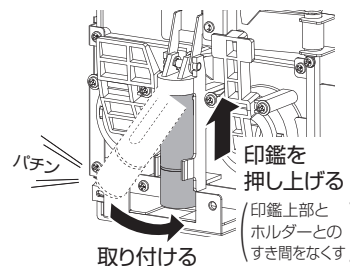
② カバーを外す (ねじ 2 本)

配達扉の裏にあるねじ 2 本を取り外してください。



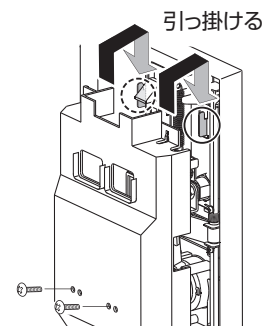
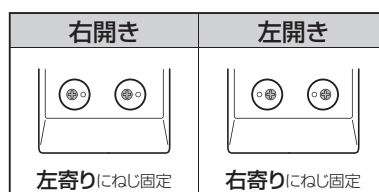
③ 印鑑ホルダーに 印鑑をセットする

必ず印鑑のキャップを外してください。



④ カバーを取り付ける

カバーの切り欠き部を配達扉に引っ掛けて、ねじ 2 本で取り付けてください。



⑤ 押印の確認をする

荷物の配達

(動作確認の前に印鑑がセットされているか確認してください)

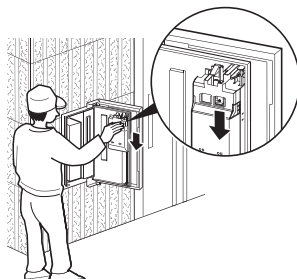
① 外扉を開け、 配達扉の「開ける」 ボタンを押して 扉を開ける

荷受確認表示が「受け取りできます」(緑色)になっていることを確認してください。



② 荷物を入れて、 配達扉裏側の 施錠レバーを下げる

施錠レバーを下げたとき荷受確認表示が「使用中」(赤色)になっていることを確認します。

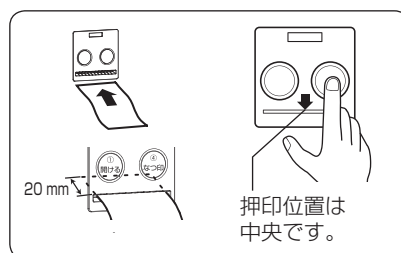


③ 配達扉を閉める

※扉中央部を押してください。
扉の上・下が確実に閉まっているか確認してください。
施錠すると、室内側からしか解錠できません。



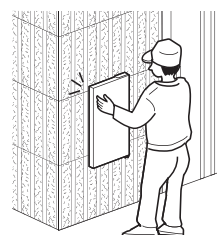
④ 伝票を入れて (20 mm程度) 「なつ印」ボタンを押す



ご注意

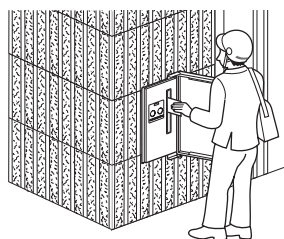
●押印は1回のみです。
「なつ印」ボタンはカチッと鳴ったら指を放してください。

⑤ 外扉を閉める

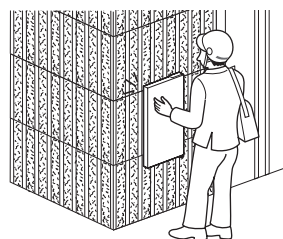


郵便物の投函

- ① 外扉を開け、
ポスト投入口へ
投函する



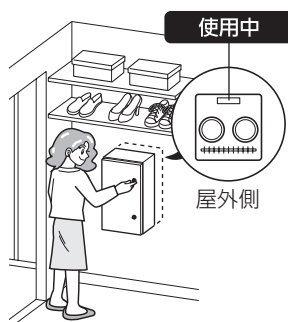
- ② 外扉を閉める



荷物・郵便物の取り出し

- ① 室内側扉の
ツマミサムターン
(2 か所)を回して、
解錠する

配達扉の荷受確認表示が
「使用中」(赤色)の場合、
荷物が入っています。



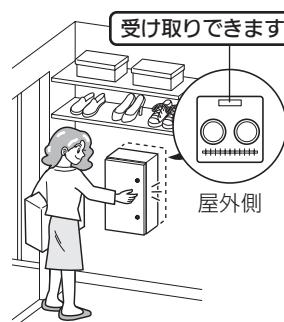
- ② 室内側扉を開け、
荷物・郵便物を
取り出す



- ③ 室内側扉を閉めて
施錠する

ツマミサムターンを押し込み
ながら回してください。
扉を閉めたら、荷受確認表示が
「受け取りできます」(緑色)
になっていることを確認して
ください。

※上側のツマミサムターンは
配達扉と連動します。
必ず操作してください。



ご注意

- 室内側扉を開けると、配達扉の荷受確認表示が「受け取りできます」(緑色)になり、配達扉を開けることができる状態になります。

施工後の確認

全ての作業の完了後に、下記をチェックしてください。

項 目	チェック
●各部のねじのゆるみはないですか？	
●扉の開閉に不都合はありませんか？	
●印鑑をセットしましたか？押印操作は正常に行えますか？	
●取扱説明書をお施主様にお渡しし、使用方法、メンテナンスなどの説明をしましたか？	

仕様

使用環境	周囲温度 -5℃～40℃
	湿度 95%以下
設置場所	屋外（住宅壁埋め込み型）
最大受け取り サイズ(mm)	宅配ボックス：幅 130×奥行 320×高さ 500 郵便物：幅 35×奥行 260×高さ 340
本体重量(kg)	18.0
材質	外扉・配達扉：ZAM（高耐食溶融メッキ鋼板）粉体塗装 宅配ポスト本体・室内側扉：SPCC（鋼板）粉体塗装

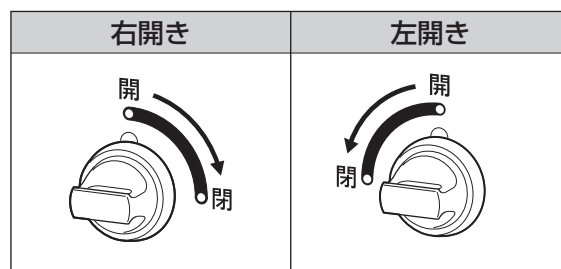
故障かな？と思ったら

修理、サービスを依頼される前に次の項目の点検をしてください。

症 状	点 検	処 置
押印ができない	印鑑が入っていますか？	印鑑を入れてください。
	印鑑のインキが切れていませんか？	印鑑のインキを補充してください。
	指定以外の印鑑を使用していませんか？	指定の印鑑に交換してください。
	配達扉は閉じられていますか？	配達扉の施錠を確認してください。
伝票が入らない	印鑑が邪魔していませんか？	印鑑を上面に押し上げてセットしてください。
配達扉が施錠しない	施錠レバーを下げていますか？	施錠セットレバーを下げた状態で配達扉を閉めてください。
室内側扉が解錠できない	サイズオーバーの荷物が入っていませんか？	室内側扉を押したり、本体をゆすったりした後、解錠操作をしてください。

●ツマミサムターンの回転方向

※ツマミサムターンは上下2つあります。
必ず上下2つともしっかり施錠してください。
（上側のツマミサムターンは配達扉と連動しているため、
少ししかたいた場合があります）



Q&A

Q1 設置地域の制限はありますか？

A 下記の住宅事業建築主の判断基準における地域区分（平成 25 年基準）をご参照ください。

「住宅事業建築主の判断基準」では、指標となる一次エネルギー消費量を求める際に、気象条件に見合ったエネルギー性能を適切に評価するために、全国を 8 つの地域に区分しています。なお、平成 25 年の省エネ基準の改正に伴い、平成 26 年 4 月 1 日に住宅事業建築主の基準も改正され、住宅事業建築主の判断基準における地域区分の表記（Ⅰa～Ⅵ）は、1～8 地域に変更されました。

※ 1～2 地域においては結露するおそれがあります。



Q2 準防火・防火地域に使用できますか？

A 防火地域には使用できません。準防火地域には対応した設計です。（鋼板 0.8 mm 以上建築基準法 告示 1360 号に準拠）ただし、確認申請前には必ず所轄の建築主事にご相談ください。

Q3 断熱性能は？

A 外寸□ 600 mm 以内のため、住宅全体の断熱計算において、一般的には対象外となります。詳細は外皮審査機関にご確認ください。

※省エネ計算（U 値計算）には対象外です。

※(参考)「平成 25 年度省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅲ 住宅の設計施工指針」「低炭素建築物認定に係る技術的審査マニュアル 2015 住宅編」

Q4 耐力壁として強度を確保できますか？

A できません。

Q5 設置の高さはどれくらいですか？

A 屋外側 GL から本体底面まで 700 ～ 800 mm です。

Q6 ポストの投入口開口寸法は？

A 40 mm × 341 mm（幅×高さ）

Q7 郵便ポストの内容量は？

A 朝刊 4 日分

Q8 電源は必要ですか？

A 不要です。
電気配線不要なので、設置いただくだけでご使用いただけます。

Q9 受領印の押印は何回くらい可能ですか？

A 当社推奨印鑑であるシヤチハタ製「ネーム 9」の場合、通常の屋外使用では約 1 万回の押印が可能です。設置環境や場所により押印回数は異なりますが、2 年間ごとにインクの補充をおすすめします。

Q10 雨水の浸入は大丈夫ですか？

A 屋外で使用いただける防滴構造のため、水が浸入しにくい構造となっています。

Q11 1 日に 2 個目の荷物が来た場合は？

A 1 個目の荷物を取り出さないと 2 個目の荷物は受け取れません。

Q12 いたずらに対する防御機能は？

A 防御機能はございません。
（免責事項とさせていただきます）

※宅配ポストの近くにカメラ付きドアホン子器の設置をおすすめします。

ただし下記事項の配慮はしております。

- ・印鑑はカバー内に収納されております。
- ・通常状態では印鑑は押せない状態になっております。
- ・押印は施錠時に一回のみとなります。

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

外廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2020-2024

214-EP191S
D1020-3074